

は じ め に

小学校・中学校に引き続き、今年度から高等学校においても新しい学習指導要領による教育課程が実施されました。

これからの学校教育では、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる資質や能力の育成が重要視されています。そのために、個性や創造性を発揮しつつ自己表現を図る資質や能力を育成する教育を推し進める必要があります。

平成3年3月に県教育委員会は、「いきいき新潟教育プラン－新潟県第六次総合教育計画－」を策定し、教育施策の計画的推進を図ってきました。その柱の一つとして「いきいき学べる学校教育の充実」を掲げています。ここでは「学力の向上を図り、個性を生かす教育の推進」をターゲットの一つとして位置付け、小・中・高等学校の一貫した取組を求めています。

学力の向上に対する県民の期待は、県政調査（平成元年）でも明らかです。

この課題を受け当教育センターでは、学力の向上を目指す学習指導の改善・工夫を求め、平成4年度から4カ年計画でプロジェクト1研究に着手いたしました。

今年度の研究はその第3年次に当たります。今年度は、昨年度の予備問題作成、及び調査実施を踏まえ、新しい学力観に立つ学力調査問題を作成し、その問題に基づく調査を県内の小・中・高等学校（抽出校）で実施しました。

この度、今年度の調査研究の結果がまとまりましたので、本報告書により報告させていただきます。

本プロジェクト研究の最終的な目標は、新しい学力観に立つ小・中・高等学校における学習指導の改善であります。

この事業は、各学校における学習指導改善への議論の高まりを期待すると共に、学習指導改善への一助として、機能することを願うものであります。

各学校においては、児童、生徒の学力の充実・向上のために本調査報告書を御活用いただき、新しい学習指導要領の趣旨を生かした指導の改善・工夫に役立てていただきければ誠に幸いに存じます。

最後になりましたが、本調査研究を進めるに当たって御指導賜りました国立教育研究所の長崎栄三先生、新潟大学教育学部の先生方、また、御支援と御協力いただきました関係各小・中・高等学校、及び関係各位に心よりお礼申し上げます。

平成7年3月

新潟県立教育センター所長

青木 一男